

ランチ営業に笑顔集う『食事処 柿の木』(旧川竹) 村民に愛された名物料理に舌鼓



食事処 柿の木
 飯館村草野字大師堂 30
 ☎090-4630-4724
 午前 11 時～午後 1 時ラストオーダー
 夜の利用や貸切は応相談
 定休日 木曜日・日曜日

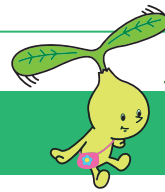
川里佐和「さん(草野)」が営んでいたレストラン『川竹』は 40 周年を目前に震災で閉店しましたが、何年経ってもその味を懐かしむ声が絶えない人気店でした。今から 3 年程前、食した柿の種を何気なく植木鉢に蒔いた川里さん。1 本だけ芽吹いた苗を大切に育て、やがてその苗が花壇に根付いた時、「もう一度店を開けようという気持ちになつていった」そうです。新しい店名も『柿の木』としました。

川里さんは自力で厨房を改修。同級生の佐藤昇さん(草野)が開店準備をあれこれと手伝ってくれました。テーブルの天板など旧店舗で使っていた物も店づくりに活かしました。

調理の勘を戻すまでが大変でしたが、それだけに「昔と変わらない味だ」は一番のほめ言葉。「1 日に数人でも来た人が喜んでくれればそれでうれしい」と川里さん。その確かな腕で新たなファンも獲得しています。



往年の人気メニューから生姜焼き・ナポリタン・クリームソーダ。精肉店「肉のゆーとびあ」の牛肉を使った牛丼や、ステーキ(要予約)もメニューに加わりました。新メニューは何度も試作し味を確かめます。「寒くなったら鍋焼きうどんもいいね」。味わう人の笑顔を思い浮かべてメニューを練る川里さんでした。



新登場! とってもキュート!
イイタネちゃんダルマ

飯館村の公式キャラクター「イイタネちゃん」をモチーフに。「道の駅までい館」限定販売のキュートなダルマは、江戸時代から続く白河だるまの工房「白河だるま総本舗」謹製の伝統工芸品。S・M サイズ共にケース入りで、表情や模様が少しずつ違っているのも手づくりならではの魅力。



〈編集後記〉

浴衣姿の子ども達や、久々の再会を笑顔で迎える人々、やっぱり地域のお祭りはいいものですね。参加者の中に一人、仮装をしている人を見かけ、震災以前行われていた飯桶盆踊りの仮装行列の思い出が溢れてきました。私もゲゲゲの鬼太郎やらハリーポッターやいろいろの仮装をしていたものです。あの頃の賑わいに少しづつ戻ってきています。今年参加できなかった

皆さんも来年はぜひご参加ください! (巻野)

暑い夏になりました。民家の庭先や地域の花壇が夏の花に彩られ、アイデアいっぱい催しには大勢の人。関わる皆さんの思いも熱い夏でした。「学びの旅」で北海道を訪れた子ども達が菅野牧園の菅野さんに「あるものさがし」で飯館村の素敵な所が見つかるかと教わりました。見渡せばどれも宝物に思えて…あるもの私も大切にしたいです。(星)